

＜目指せ！1等米比率90%以上継続！～JA富山市米品質向上生産運動展開中～＞

◎コシヒカリの生育状況

6月の気温は平年に比べやや高めに推移しています。コシヒカリの生育は平年に比べて、草丈:短い、茎数:並み、葉齢の展開は並み、葉色:並みと順調で、茎の数も十分に確保できています。

JA 富山市管内水稻生育調査結果(6月13日)(管内基礎ほ7ほ場平均)

	草丈 (cm)	茎数 (本/株)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色
本年	34.3	20.6	409.7	8.2	4.4
昨年	33.8	18.0	372.5	8.2	4.3
平年	37.0	19.8	392.0	8.7	4.3

○中干しを開始していないほ場では直ちに実施しましょう！

・中干しが不十分な圃場は、繰り返し田干しを実施しましょう。

1. 中干し後の水管理

【中干し後～幼穂形成期】

- ・「間断かん水」を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程にしか沈まない様に仕上げましょう。
- ・生育量が多い場合は、過剰籾数や倒伏を防ぐために、やや強めの田干し(落水期間を長くする)をしましょう。

【幼穂形成期以降】

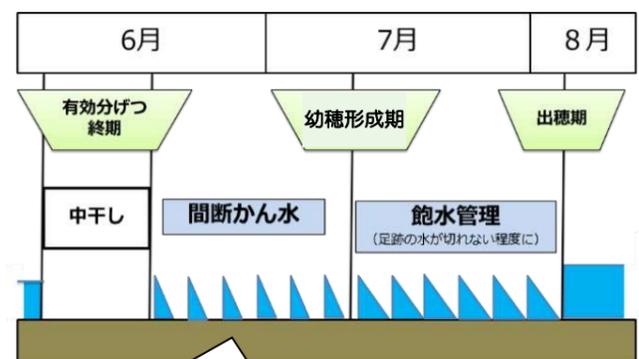
- ・飽水管理(田面に常に水がある状態)で、稲の活力維持に努めましょう。

中干しの終了は、ほ場中央部でくるぶしが軽く沈む程度を目安とする



中干し終了頃のほ場の状態

水管理のイメージ(コシヒカリ)



中干し後、田面が乾きすぎると、葉色が急激に低下することがあります。中干し後の間断かん水は、乾かしすぎないようにしましょう。

2. 「てんたかく」の穂肥

【基肥一発肥料栽培の場合】⇒原則として穂肥は必要ありません！

- ・過剰に穂肥を追加すると、稈長が伸長し、倒伏を助長します。

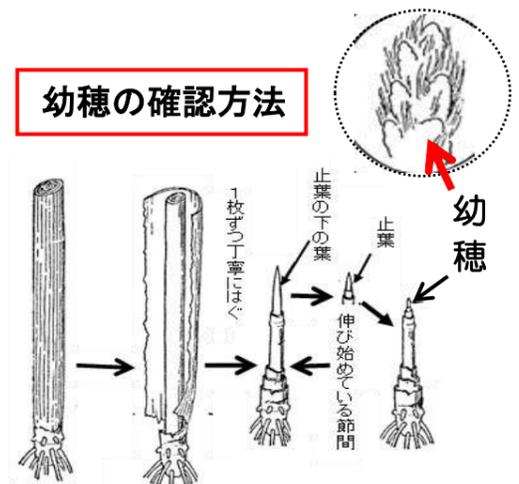
【分施栽培の場合】

- ・幼穂長1～2mmを確認したら、1回目穂肥を施用しましょう。

〈穂肥施用の目安 (5月連休田植えの場合)〉

	1回目 (6/26日頃)	2回目 (1回目の10日後)
追肥3号	10～12 kg/10a	12～13 kg/10a
LP 追肥38号	18～20 kg/10a	-

幼穂の確認方法



3. 草刈りの徹底

注意

早生の格下げの主要因は、カメムシによる斑点米です！

- ・カメムシは、畦畔等の雑草の穂を好みます。畦畔等は、雑草の穂が出ないように草刈りを徹底し、カメムシ類が発生、増殖しにくい環境づくりに取り組みましょう。
- ・アカスジカスミカメは、水田内のノビエやホタルイの穂を好み、産卵、増殖するので、水田内に雑草が見られる場合は除草に努めましょう。
- ・出穂直前や出穂後の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むので、草刈り運動期間中に草刈りを実施し、地域全体でカメムシ類の密度を減らしましょう。

【主な斑点米カメムシ類】



イネ科雑草の穂が出ている畦畔は、カメムシの生息地となるため、草刈りを行いましょう！



斑点米

玄米 1000 粒に2粒混入すると2等米に格下げ!!



＜ 水田畦畔等草刈り運動期間 7月1日～7月10日 [一斉草刈り日: 7月1日(土)～2日(日)] ＞

○農作業の際は、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> で検索！